

1 単元名 近世の日本
「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」(全6時間)

2 単元のねらい

ヨーロッパ人の来航は鉄砲やキリスト教をもたらし、当時の日本の社会に大きな影響を与えたことに気づくことができる。

織田・豊臣の統一事業とその対外関係のあらましを通して、歴史の流れと文化の特色をとらえることができる。

3 単元で培いたい学び方

歴史的な事象を「古い勢力の排除」「自由な商業活動」「兵農分離の確立」という視点から考察することによって、近代封建社会の成立を理解する学び方

4 内容のまとめごとの評価規準 歴史的分野の内容 「(3) 近世の日本」

ア：社会的事象への関心・意欲・態度	イ：社会的な思考・判断	ウ：資料活用 of 技能	エ：社会的事象についての知識・理解
近世社会の成立とその後の政治、社会、文化に対する関心を高め、意欲的に追究し、文化遺産を尊重しようとする。	近世社会の成立とその後の政治、社会、文化から課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。	近世社会の成立とその後の政治、社会、文化に関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり、説明したりしている。	近世社会の成立とその後の政治、社会、文化の特色を、我が国の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。

5, 評価規準

	ア 社会事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用 of 技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	戦国の動乱とその時期のヨーロッパの来航に対する関心を高め、意欲的に追究している。	戦国の動乱とその時期のヨーロッパの来航を通して、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係のあらましを通して、歴史の流れと文化の特色を多面的・多角的に考察している。	織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と文化の展開に関する絵画や文献などの様々な資料を収集し、適切に選択し活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり、説明したりしている。	戦国の動乱とその時期のヨーロッパの来航を、我が国の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的な評価規準	ヨーロッパ人の来航の目的を多面的・意欲的に追究しようとしている。 身近な地域の歴史に関心を持ち、通史との関わりを見いだそうとしている。	「楽市楽座」の仕組みを理解し、経済的効果について多角的に考察している。また、座の廃止や延暦寺の焼き討ちなどが旧勢力の排除につながっていると考えている。 太閤検地によって農地と農民を直接支配することを全国統一と関わらせて考えている。 全国が統一されようとしている時代の流れを考え、地侍をとらえようとしている。	座のしくみや「楽市楽座」の様子を経済的な視点で資料から読み取っている。 武士の生活の様子や世の中の変化を年表や資料から読みとっている。 安土・桃山時代の文化の特色を、文化財等の資料から考えることができる	鉄砲の伝来の影響について、多面的な認識を持っている。 ヨーロッパ人のアジアへの進出について、ヨーロッパ諸国の状況を考慮しながら、多角的に考察している。